



LA GALAXYのファンはDIGNITY HEALTH SPORTS PARKの新しいサウンドシステムで最高のエクスペリエンスを楽しむ



2019年10月

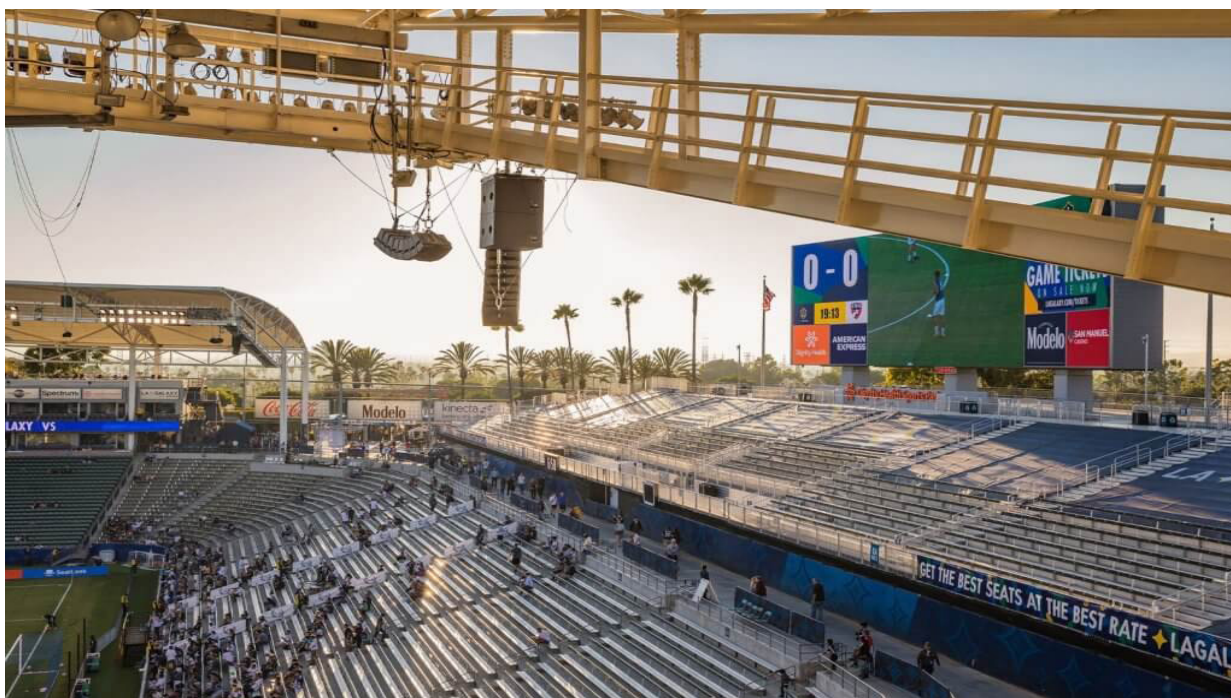
3G Productionsは、メジャー・リーグ・サッカー(MLS)の最も権威のあるクラブのために、L-Acoustics Kiva II / SB18iスピーカーシステムの設計・設備施工を担当

MLSで最も成功しているフランチャイズの1つであるLA Galaxyのホーム、「Dignity Health Sports Park」(DHSP)は、L-Acoustics Kiva II / SB18i スピーカーシステムの設計および施工を3G Productionsに依頼することを発表しました。新しいスピーカーシステムは、AEGとLA Galaxyが Dignity Health Sports Park でのファン・エクスペリエンスのために行っている継続的な投資の一部です。

「スタジアムの古いサウンド・システムは、もはやニーズを満たしていませんでした。」と3G Productions, Inc.のC.O.O、キース・コンラッド氏は説明します。「時代遅れだし、信頼性も低下していました。さらに、スタンドやコンコースで十分なサウンドカバレッジを拡げることができなかったため、会場全体にわたってファンに最高の体験を提供することに苦労していました。

スタジアムのさまざまなニーズを念頭に置いて、AVL Integrationの3Gプロダクション・ディレクターを務めているデビッド・マイヤーズ氏は、Soundvision を使った設計で、L-Acousticsスポーツ施設ビジネス開発マネージャー、ダン・パーマー氏と協力しました。最終的にすべての基準を満たした要因は、主に142台のKivallラインソースエンクロージャーで構成されるボウルのサウンドシステムです。このシステムは、8か所のゾーンで18アレイに分割され、28台のSB18iサブウーハーによる14ハングと組み合わせ、13台のLA12Xと4台のLA4Xアンプリファイド・コントローラーによってドライブされます。さらに、コンパクトな10台の5XT ショートスロー・スピーカーがウェスト・ゾーンのプレスエリアをカバーし、2本のSyvaコリニア・エンクロージャーはスタジアムの正面入り口にある巨大なLEDの壁の左右に設置されました。ルドへの視線を邪魔することなく、会場の建築的に美しい外観を保つことができます。そして、メインシステムを強化し、SRの要求がより厳しいショーやゲームのために、必要に応じて周波数帯域幅を拡張し、ローエンドエネルギーを高めるためにSB18iサブウーハーを吊り下げました。」





コンラッド氏は、新しいスピーカーシステムに注目しています。最終的には2月にコミッションされましたが、3月初旬のLAギャラクシーのシーズンオープニングの直前に、古いものから大幅に改善されました。「L-Acousticsシステムは、スタジアム内のエネルギーを大幅に強化しながら音をフィールドから遠ざけることでサッカーの試合の完全性とニュアンスを保ちます。」と述べます。「コンコース全体のオーディオシステムは、例えば席を離れる必要があったとしても、観客がアクションに付いてこれるようにすることで、ファンエクスペリエンスを向上させます。スピーチの明瞭度が著しく向上し、ゲーム中にスタジアムから発せられるノイズが最小限に抑えられたことで周囲の人々も満足しています。」

Dignity Health Sports ParkのAEGオペレーション担当次長であるアダム・デュベンデック氏は、同意をしています。「時代遅れのシステムに直面して、私たちが行ったことは、サウンドを隣人ではなくスタジアム内に集中させながら、卓越したファン・エクスペリエンスを提供できる製品を見つけることでした。」と説明します。「3GおよびL-Acousticsは、優れた明瞭度を持つコンサート品質のシステム提供を時間通りに予算内に収めることができます。」

